

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年 9月 20日
枚方市立樟葉西小学校

文部科学省が今年4月に実施した、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

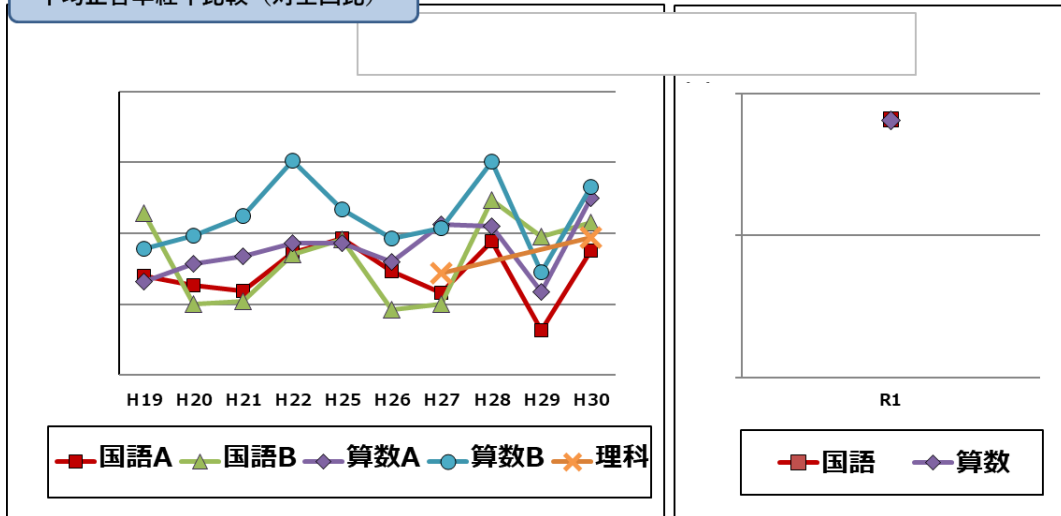
【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。
（※今年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

平均正答率経年比較（対全国比）



<学力調査結果の概要>

○国語について

- 国語の正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
- 「条件にあわせてまとめて書く問題」「文を分けて書きなおす問題」に課題がみられた。

○算数について

- 算数の正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
- 「示された求め方を解釈し、別の方法の求め方や性質について記述する問題」に課題がみられた。

※本調査は、平成19年度から実施されています。

※平成23年度は中止（東日本大震災）、平成24年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

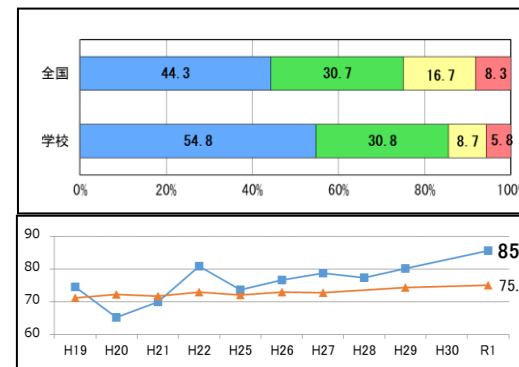
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

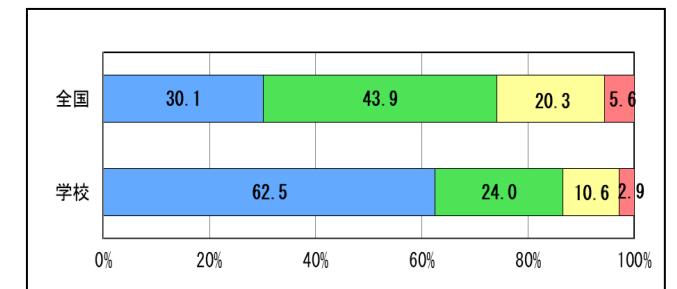
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



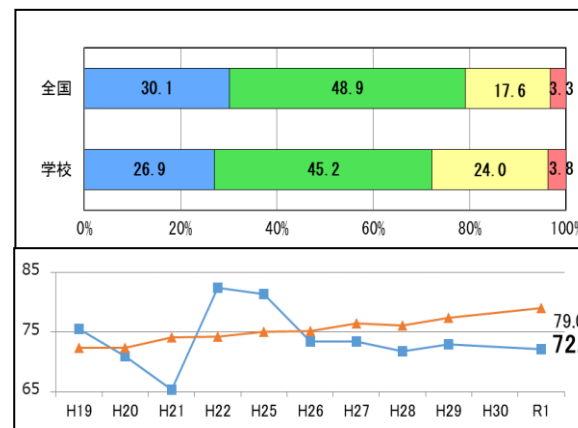
読書は好きですか



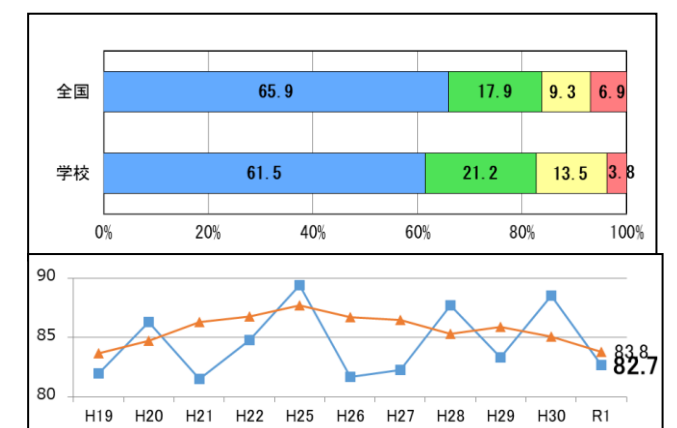
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



将来の夢や目標を持っている



<質問紙調査結果の概要>

- 読書習慣について
読書活動の取り組みを通し、読書への親しみが上昇している
- 学級経営について
互いの意見を認め合いながら話し合い、解決できる学級づくりを意識した学級経営を行うことができている。
- キャリア教育について
「失敗を恐れなくて挑戦すること」や「将来の夢や目標を持っている」が全国を下回り、課題が残った

まとめ

算数・国語ともに全ての領域の正答率において、本校の児童は全国平均を上回っており、授業改善等の一定の成果が表れていると考えられる。しかし、国語・算数ともに、記述問題において、正確にまとめる力に課題がみられた。学校で重点的に取り組んでいる読書習慣についても一定の成果が表れた。一方で、キャリア教育においては、課題がみられ家庭と連携して取り組んでいきたい。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】

図表やグラフなどを用いた目的を捉える

- 一 高橋さんは、「報告する文章」で(資料2)と(資料3)を、それぞれの目的で用いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 現在と過去の様子を書いて示し、二つのがいを伝えるため。
- 2 内容ごとに分類して示し、大まかな傾向を伝えるため。
- 3 半度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
- 4 記事や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
- 5 説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

(資料2) ……
(資料3) ……

※解答は、解答用紙に書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	81.6	1.0
全国	71.2	0.5

(考察)

調べたことをまとめている複数の資料が、それぞれどのような目的で用いられているか捉える問題が、正答率が81.6%と全国よりも10.4ポイント高かった。前年度は、複数の資料から情報を読み取りまとめる問題に課題があったが、今回は複数の資料から情報を読み取る力がついてきたことがわかった。

成果や課題があった設問

【成果】

話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする

- 一 「インタビューの様子」の「ア」で、岸さんは、自分の理解が正しいかどうかを確認しようと思いき、質問をしています。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 十八歳から五十年間も、漫画家という仕事を続けることができたのでしょうか。
- 2 機械を使って一度にたくさん作るので、より多くの人が使うことができるのでしょうか。
- 3 最近作られた量の中で、特にくふうして仕上げたものにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 4 細部まで丁寧に手作業で作るので、一枚も同じものはないのでしょうか。

	正答率	無解答率
本校	89.3	2.9
全国	81.3	3.4

(考察)

インタビューの場面において、自分の理解が正しいかを確認するための質問をする問題の正答率が89.3%と高く、全国の81.3%に比べて8ポイント高かった。普段の授業での話し合い活動などの取り組みによって、話し手の意図を捉えながら聞く力が徐々についてきたと考えられる。

【課題】

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く

- 三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。□に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。
- (条件)
- 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、七十文字以内(または)で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要ななくなってしまったわけではないと考えました。

なぜなら、

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※この原稿紙は書き出しの欄に、使っても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	35.0	6.8
全国	28.8	3.8

(考察)

調べたことを報告する文章に、分かったことを読み取り、条件に合わせてまとめて書く問題が、正答率35%と低かった。解答類型をみると、指定された複数の条件のうち、1つだけ満たせていない解答が多かった。同じように複数の条件が指定された別の問題においても同様の傾向がみられた。普段の授業から指定された条件を満たしながら文章をまとめる指導が必要である。

【課題】

文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く

- (2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の□の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、「二文目の」の「そこで」に続く五文字を書きましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。
- 公衆電話を必要としないことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。
- 。そこで、□

	正答率	無解答率
本校	54.4	12.6
全国	47.8	11.3

(考察)

調べたことを報告する文章を、接続詞を使って、文を分けて書き直す問題の正答率が54.4%であり課題が見られた。文章をまとめる際に、読み手を意識して、わかりやすいように伝えるために接続詞を使って、短い文をつなげてまとめる指導が必要である。

【詳細について】

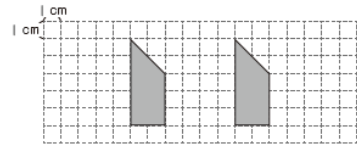
教科に関する調査

<算数>

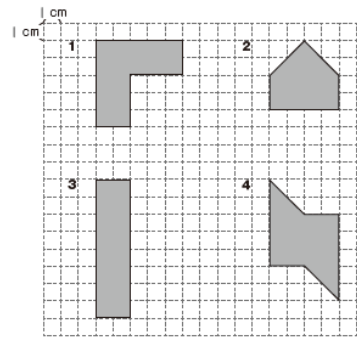
成果や課題があった設問

【成果】 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる

(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。どのような形をつくることができますか。下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



	正答率	無解答率
本校	74.8	1.0
全国	60.3	0.6

(考察) 二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺同士をあわせてつくりることができる形を選ぶ問題の正答率が74.8%と全国に比べ14.5ポイント高かった。図形の構成要素に着目をして、図形を比べながら、ほかの図形をつくったりするような問題は一定、定着していることがわかった。

【課題】 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる



私は、ほかの求め方を考えました。

【ちひろさんの求め方】

$$5 \times 4 = 20$$

$$4 \times 2 \div 2 = 4$$

$$20 - 4 = 16 \quad \text{答え } 16 \text{ cm}^2$$

【ちひろさんの求め方】中の「 $20 - 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図1を使って考えてもかまいません。

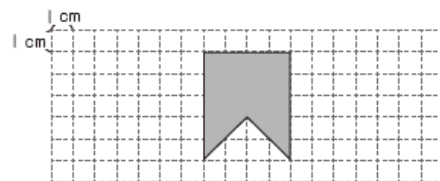


図1

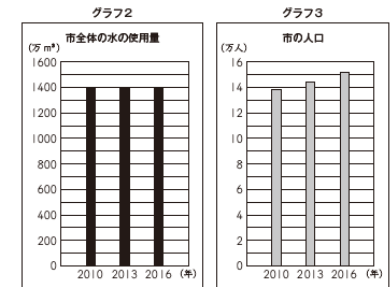
	正答率	無解答率
本校	48.5	4.9
全国	43.9	6.7

(考察) 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く問題の正答率が、48.5%と低かった。解答類型をみると、言葉や式で説明する際に、言葉が足りていない解答が多かった。普段の授業から、必要な言葉を使って、正確に説明ができるようにする指導が必要である。

成果や課題があった設問

【成果】 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと考え、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



あやさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人当たりの水の使用量についてわかることがあります。2010年から2016年までの、3年ごとの1人当たりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだおける、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人当たりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人当たりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人当たりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人当たりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

かいと: 私たちは、水を大切に使用しているといえるのでしょうか。
ちひろ: 市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかわかりません。
あやの: グラフ2とグラフ3を見ることで、1人当たりの水の使用量についてもわかります。

	正答率	無解答率
本校	61.2	1.9
全国	52.1	2.0

(考察) 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、理由を説明する問題の正答率が61.2%で全国の52.1%に比べると、9.1%高かった。前年度、単位量あたり問題に課題がみられたが、今年度は、一人あたり量の意味について理解し、文章で説明ができていた。

【課題】 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる

ゆいさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいさんがまとめたこと】
ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わりません。このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、次のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array} \quad \text{変わらない}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array} \quad \text{変わらない}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようなになりますか。下の□の中に、「ひかれる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、
※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

	正答率	無解答率
本校	33.0	16.5
全国	31.1	10.8

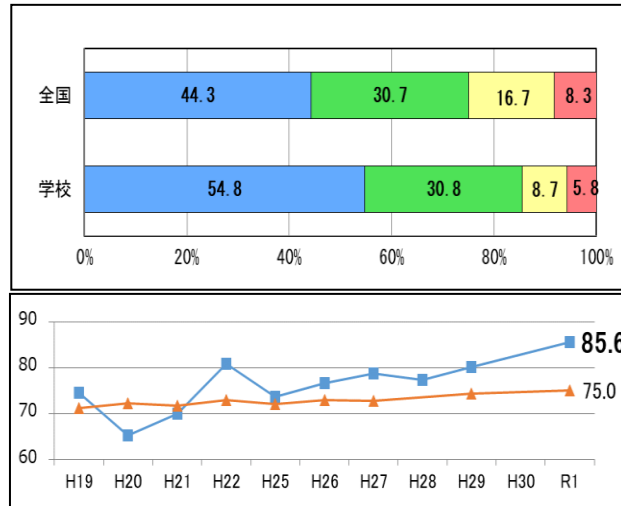
(考察) 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめる問題において正答率が33%と課題がみられた。解答類型をみると、商の言葉を使って説明が出来ていなかったり、無解答が多かったりした。商という言葉が定着していなかったと考えられる。普段の授業から、算数用語を使って説明できる指導が必要である。

質問紙に関する調査

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果のあった項目】

読書は好きですか

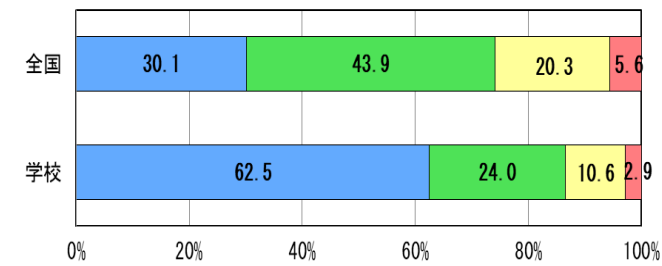


(考察)

「読書は好きですか」の肯定的な回答が、85.6%と全国の75%に対して10.6ポイント高かった。全国が横ばい傾向にある中で、本校は、年々、上昇傾向にある。本校では、昨年度より、朝読書や読書カードの取り組みを進めており、また本年度は、大阪府の図書館活用の研究指定を受け、図書を活用した授業づくりにも取り組んでいる。

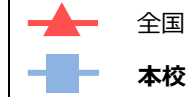
引き続き教育活動を通じて、読書習慣の形成を図るとともに、学習活動での活用についても、多様な指導の展開に取り組んでいきたい。

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか



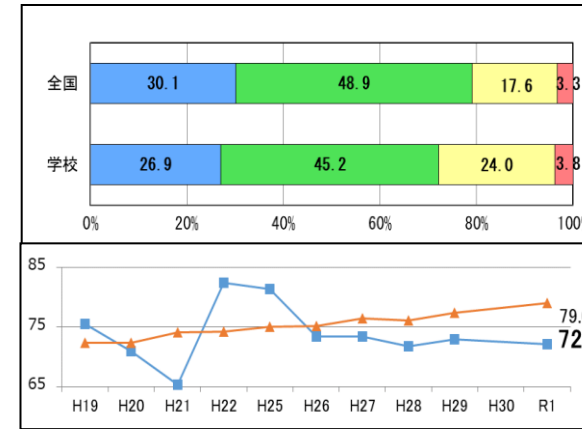
(考察)

「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」の肯定的な回答が、86.5%と全国の74%に対して、12.5ポイント高かった。特に「とてもそう思う」に62.5%の回答があり、全国よりも32.5ポイント高かった。話し合いの中で解決していく学級経営を学年全体で取り組んでおり、児童もそれを実感していることがよくわかる結果となった。



【課題が残った項目】

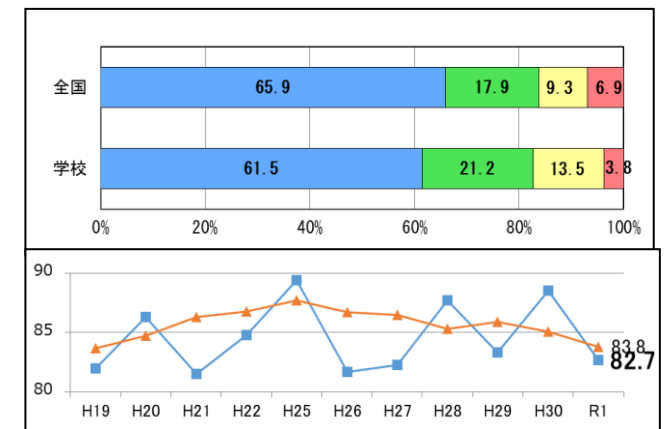
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



(考察)

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」の肯定的な回答が72.1%と全国の79%に対して、6.9ポイント下回った。また「将来の夢や目標を持っている」は、82.7%と、全国の83.8%に比べて0.9ポイント下回った。値的には低くはないが、年度により不安定である。夢を持つこと自体が大事というよりも、何事にも挑戦することや、自己をみつめながら目標を決め、自己実現していこうとすることは、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するために大切である。家庭と学校が連携して子ども達のキャリア教育を充実させていく必要がある。

将来の夢や目標を持っている



分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

- ・引き続き「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業づくりに取り組む
- ・「文章や資料などから必要な情報を正確に取り取り、目的や意図、条件にあわせて課題を解決できる力の育成」をテーマに授業改善に取り組む
- ・普段の授業を相互に参観する機会を設け、教職員同士で授業力向上に取り組む
- ・低位層のつまづきを把握し、組織的にフォローする「計算バッチリ学習」に取り組む
- ・学校図書館を活用し、言語活動を充実した授業づくりに取り組み、主体的・対話的で深い学びを実現する

(2) 学習規律について

- ・引き続き「樟西小学力向上スタンダード」を活用し、チャイム着席などの基本的な学習習慣を定着させていく
- ・「めあて」や「振り返り」の活動を充実させ、目標設定や自己をふりかえる習慣を定着させていく

(3) 家庭学習について

- ・自学自習ノートの活用、タブレットドリルの活用など、家庭と連携した家庭学習を推進する